

久保田 和雄

FA・ロボットシステムインテグレーター協会会長



くぼた・かずお 三明機工の製造部長、常務を経て1996年から社長。武藏工業大卒。静岡市清水区出身。65歳。

産業用ロボットを活用した機械システムの導入提案や設計、構築などを行うシステムインテグレーター(SI)。

7月に設立されたSI中心の全国組織「FA・ロボットシステムインテグレーター協会」のトップとして活動を牽引する。設立の意義や運営方針を聞いた。

【設立の経緯は】

「国内の労働力人口は少子高齢化で減少する一方。製造業の現場では省力化や生産性向上へロボットの導入が進むが、単に人の仕事の置き換えではなく、いかに付加価値をつけて生産改革

を図るかが重要だ。その過程でSI技術者の存在は不可欠。ただ、圧倒的に人材は不足している。ロボットメーカーとわれわれSI業界が一体で

動くことで、事業環境の改善や人材育成を推進

し、ロボットの利活用を通じた国内産業力の強化に結び付けていく】

聞きたい

【活動計画は】

認知度向上へ業界連携

政治・経済しづおか

産業用ロボット導入促進

「設立メンバーは協力企業を含め144社。年内には200社程度まで広がりそうだ。初年度はまず、会員相互の情報ネットワークの構築を急ぐ。

会員企業の多くは中小規模だが、それぞれ独自の技術力を持つ。補完し合えば大規模な受注実現にもつなげられる。SIそのものの公的な資格は無い。知識や技術の専門性を示し高度化を図るためにも、個人のスキルを評価する認定制度の創設も視野に入れている。足元だけでなく中長期ビジョンの策定も同時に進め

【喫緊で取り組むべきは、SIの認知度向上だ。機

械、電気の設計やロボ

ットプログラム作成など

が一通りできるようにならためには一定の時

間がかかる。技術継承も

必要で、若手から経験

を積み上げる必要があ

る。高校や大学を回つて若年世代へのPRに

努め、理解を深めてもら

う】

【地域の推進態勢は】

「都道府県単位で講習会やセミナー、交流会の実施をしていくことも検討している。ものづくりが

盛んな本県では、全国の縮小版のような組織がモ

デル的につくれるのでは

ないか。地域間連携も深

めたい」と

(聞き手)経済部・山本

雅子)